

日本女性会議 2022in 鳥取くらしに に参加しました

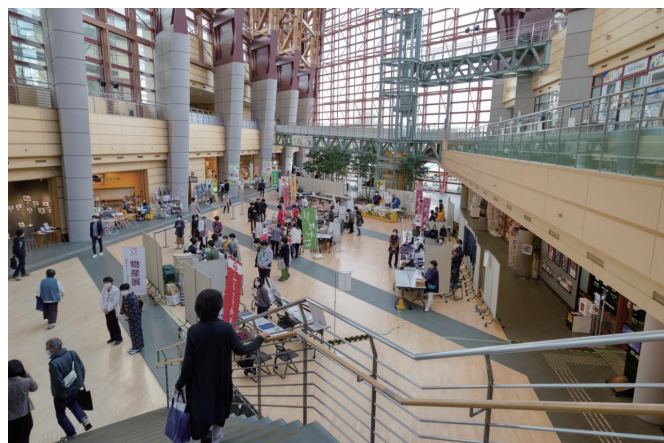
去る令和4年10月28日から30日まで、鳥取県倉吉市で開催されました「日本女性会議 2022in 鳥取くらし」に県内市町村の男女共同参画推進委員の皆様とともに参加しました。

前年度、山梨県甲府市で「日本女性会議 2021in 甲府」がオンラインで開催されたこともあり、リアル開催できることのうらやましさも感じつつ総勢34名で夜明け前に山梨をバスで出発し、羽田空港から空路で鳥取砂丘コナン空港へ。ちょうど昼時に倉吉市の会場に到着しました。

会場の「鳥取未来中心」は多くの人々でにぎわっており久々の対面での開催に皆が期待値を上げているのがわかり、スタッフの方々の温かい出迎えはオンラインに慣れつつあった私たちに対面で交流することの素晴らしさを改めて感じさせてくれました。



日程は一日目に分科会での学習、二日目に開会の式典や基調講演、記念シンポジウムが行われました。特徴的だったのは、全体をとおして若い皆さんが各所で積極的に関わってくれたこと。分科会の高校生の発表では上野千鶴子さんは辛口でも温かい眼差しでコメントを送っていました。記念シンポジウムでの鳥取大学女子学生による「ひとりでも生きていけそう」かどうかを考えた言葉の一つ一つは、重いけれども



しっかりと「自分らしい」現在と未来を見据えており、会場で目頭を押さえる人の姿も見られました。ジェンダー平等の道のりは遠いかもしれませんが、次世代の人たちに「今」の私たち女性と同じ苦勞をさせないように「がまんしない、わがままな、わきまえない」女となって社会を変えていく、そんな活動の一端を「ぴゅあ」も担うことができたと考えました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策も整えながらの準備と開催に、関係者の方々もご苦勞されたことと思います。そのおかげで安心してたいへん有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。これからも対面とオンラインの良いところを上手く使い分けながら、たくさんの皆様と交流し、学び合い、男女共同参画を進めていければと思っています。



4 月は「若年層の性暴力被害予防月間」です

性犯罪・性暴力は被害者の人格をふみにじり、その心身を長きにわたってむしばむことから、決して許されるものではありません。

内閣府男女共同参画局では令和 3 年から、進学や就職の時期であり生活環境も変わる 4 月を「若年層の性暴力被害予防月間」と定め、集中的に啓発活動をおこなっています。

AV 出演強要、JK ビジネス、酔わせて性行為を強要、SNS による性被害やレイプドラッグなど、若者に対する性暴力の手口は巧妙になっています。いかなる理由、関係であっても同意のない性的行為の強要はすべて性暴力であるという認識をもち、連携して若年層を守ることが必要です。

被害に遭っていながらその自覚がない、相談できないという被害者もいます。周りの人々が性犯罪・性暴力に対して正しい知識を持つことが、若年層を守り、性犯罪・性暴力の未然防止、拡大防止につながります。

令和 4 年 4 月 1 日から成人年齢が 18 歳に引き下げられたことから、親の同意を得なくてもスマホの契約が可能になったりクレジットカードが作れたり、進学や就職も自分の意志で決めることができるようになりました。

新たに成人となった 18 歳と 19 歳が出演を強要される被害に遭う恐れがあることから、令和 4 年 6 月に「AV 出演被害防止・救済法」が成立しました。これによって AV 出演を契約してしまった後でも無条件で契約をなかったことができるようにしたり、撮影された映像の公表を差し止めることができるようになりました。

18 歳で成人となることに変わりはありません。さまざまな被害に遭わないためにも、契約内容の確認や自分自身の行動には慎重になることも求められます。

万が一被害に遭ったとしたら、「被害に遭ってるかも？」と思ったら、ひとりで悩まず、まずは相談してみましょう。

万が一被害に遭ってしまったら／不安を感じたら ひとりで悩まず、まずは相談。



やまなし性暴力被害者サポートセンター かいさぽももこ

055- 222- 5562 (月曜日～金曜日 9:00～ 17:00)



もよりの性犯罪・性暴力被害者のための

ワンストップ支援センターにつながる全国共通短縮ダイヤル

はやくワンストップ

#8891



各都道府県警察の性犯罪被害相談電話につながる
全国共通番号

ハートさん

#8103



「Cure time」(キュアタイム)

年齢性別を問わず、チャットで相談ができます。
匿名での相談も受け付けており、秘密は厳守されます。

